

平成30年11月定例会会議録

(平成30年11月12日)

八代市教育委員会

八代市教育委員会 11月定例会会議録

- 【開催日】 平成30年11月12日（月）
- 【場所】 八代市千丁支所2階 庁議室
- 【出席者】 北岡 博 教育長
富田 壽人 教育委員
小嶋 ひろみ 教育委員
松永 松喜 教育委員
水田 千春 教育委員
- 【出席職員】 桑田 謙治 教育部長
宮田 徑 教育部次長
和久田 敬史 教育部次長
機 智三郎 教育政策課長
西村 裕 学校教育課長
有馬 健一 教育部首席審議員兼教育施設課長
澤田 宗順 教育部理事兼生涯学習課長
沖村 巧 教育サポートセンター所長
福原 透 博物館未来の森ミュージアム副館長
- 【事務局】 岩崎 伸一 教育政策課課長補佐兼教育政策係長
西村 妙子 教育政策課主任
- 【審議事項】 <議案案件>
①八市教委議第27号 八代市私立幼稚園就園奨励費補助金
交付要綱の一部改正について
②八市教委議第28号 八代市就学援助要綱の一部改正につ
いて
- <協議案件>
①協議第3号 八代市総合教育会議に係る今後の主要課題に
ついて
- <報告案件>
①報告第24号 平成30年度11月補正予算の概要につい
て
②報告第25号 平成30年度教育に関する事務執行状況の
点検・評価報告書について

1. 開会 (午前9時57分開会)

2. 教育長報告

北岡教育長

前回の会議から今回までに参加した行事や事業、委任された事項などの中で特に重要と思われるものについて報告

3. 議題

〈八市教委議第27号 八代市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について〉

機教育政策課長

多子世帯の子育て支援を拡充するため、私立幼稚園就園奨励費補助金の補助額に係る基準について熊本県多子世帯子育て支援事業補助金交付要領を加えるため、要綱の一部を改正する。

北岡教育長

平成30年4月1日に遡及適用されることになっているが、対象者の手元に届くのはいつごろになるか。

岩崎教育政策
課課長補佐兼
教育政策係長

年度末に幼稚園に補助金を交付し、幼稚園から対象者へ交付されるものとなっている。

【議案第27号 承認】

〈八市教委議第28号 八代市就学援助要綱の一部改正について〉

西村学校教育課長

経済的理由によって就学困難と認められる入学予定者の保護者に対し、新入学児童生徒学用品費の入学前支給を可能とするため、要綱の一部を改正する。

(質問等なし)

【議案第27号 承認】

〈協議第3号 八代市総合教育会議に係る今後の主要課題について〉

- 学校給食施設の再編計画について (教育政策課)
- 「学校における働き方改革基本方針」策定に向けた検討について (学校教育課)
- 統合型校務支援システムの導入について (学校教育課)
- 英語教育の推進 (学校教育課)
- 学校施設整備について (教育施設課)
- 地域学校協働活動の推進 (生涯学習課)
- 八代市公民館の整備 (生涯学習課)

- 特別支援教育相談事業の推進（教育サポートセンター）
- 八代市適応指導教室（くま川教室）の充実について（教育サポートセンター）

各課から資料により説明

小嶋教育委員

総合教育会議に上げるかどうか以前の話で、特別支援教育の話になるが、問題が起きた時点でコーディネータと解決していくことも必要だが、根本的な解決にはならず、不登校の件数は減らないと強く感じる。ある学校の先生から、先生たちが特性を持っている子どもを怖がっていると聞いた。特性の強い子どもたちへの先生の理解がないと感じる。特に中学校で先生たちが困っている状況がたくさんある。先生の目指す授業や学校生活から外れてしまう子どもを困った子として扱ってしまうため、不登校になっている子どもがたくさんいる。先日、支援学校の小学校の授業を見たが、春には1人も教室におらず、座っているだけでもいいというような多様な特性を持った重度の子どもたちが、教室で授業ができるようになっていて、すごいと思った。子どもたちとしっかり向き合って、一人ひとりの課題を先生、保護者、子ども本人が理解しながらやっているからだと思う。また、鏡小学校も同じような取組を全ての先生がされているから、とても落ち着いている雰囲気できていると思う。先生方に個性の強い子どもたちにもっとしっかり向き合っていたきたい。ここだけの話でおさまらないと思うが、たとえば、初任のときに特別支援学校を経験するなどのシステムを県の教育委員会に提案してもらいたい。先生たち自身とはかけ離れている子どもだと思うが、そのような子どもたちになれていく時間をとって欲しい。そうすることで、不登校の件数が減って欲しいと思っている。

小嶋教育委員

続いて、特別支援クラスに通っている子どもの不登校の問題について、放課後デイサービス事業所が個別に対応しているケースが多いが、福祉の会議に出席した際に、発達支援事業所との連携を模索されていると聞いた。全部抱え込むと大変なので、福祉と連携しながら、カリキュラム等を組むといいのではないかと思う。

富田教育委員

給食施設の再編について、再編された場合、一つの施設の食数が3,000～4,000食になる。この場合に、調理員を増やせばいいという問題ではなくて、健康管理、衛生管理の問

題など色々な問題があると思う。また、多くの調理員が集まると、人それぞれ考え方が違うため、気持ちがイライラして、怪我につながることもある。数だけの問題ではなく、このような問題も考える必要があると思う。

機教育政策課長 資料は、現在の案であるため、今後事業化していくことが決まった場合は、基本構想や基本計画を作っていくながら適正な食数のセンターを作っていくと考えている。また、施設の衛生上、労働環境上の課題についても、空調整備などで対応していきたい。新しく作り直すものなので、衛生的にも、環境的にも今よりもいい状態の施設にしたいと思っている。事業費がかかるので、今回総合教育会議へ提案して、市長の理解を得たいと考えている。

水田教育委員 地域学校協働活動の推進について、これから学校と連携していく上で、不登校の子どもたちに対する働きかけに学校を経験された方や学識経験のある方に関わってもらいたい。くま川教室だけでは足りないし、くま川教室まで行くのにハードルが高いということも聞くこともある。定期的に行くというのが難しい子どものため、ひきこもりにならないように、地域で連携する場所で学習会を開くなどして、こどもたちが外に出る機会を与え、子どもたちを見捨てていないということや子どもも地域の一員であるとわかってもらえるようにするといいと思う。不登校の子どもたちに関する部分が見当たらないので、そこをいれてもらいたい。

澤田教育部理事
兼生涯学習課長 地域学校協働本部は、学校区にまちづくり協議会有り、イメージとしては、そこに本部をおいて、地域の力で、いろんな事業に取り組んでいただくものである。すでに現在行っている事業でも財源の問題や関わる人の問題が現実的にある。全学校区に協働本部を作ることが目標となっているが、現実的にどこまでできるかについては課題が多い。コーディネータ部分については、現在も補助メニューがあるがその程度で、特化した部分がないので、経費に支援措置があるわけでもないし、中学校区ごとにすると地域協議会が複数になる場合があり、一緒にすることは現実的でないという課題もある。また、総合社会教育推進協議会が解散しているので、まちづくり協議会といかにつなげていくかという違った課題が現状としてある。委員が言われるそのような方が地域におられれば、活用できる場を作って行こうと思うが、まずは本部を作るようになっていくため、

それをどのようにするかが、難しいところである。

松永教育委員 総合教育会議に提出する主要課題だが、10の中から4つにしぼって欲しいということか。

機教育政策課長 今回は、このような内容を資料として会議の中で提案したいと考えているため、資料について意見をもらいたい。このうち、当日協議事項として説明をする4つについては、事務局の方で、昨年度と重複せず、新たに出てきたものを中心に①学校給食施設の再編計画について、②「学校における働き方改革基本方針」策定に向けた検討について、③統合型校務支援システムの導入について、④八代市適応指導教室（くま川教室）の充実について にしぼりこませていただきたいと思います。

小嶋教育委員 この夏、育成会の県大会会場として八代市公民館を借りたが、トイレの不具合があり、洋式トイレの数も不足していると思ったので対応してもらえたらと思う。

桑田教育部長 今日説明した分は、それぞれの課の重要課題で、今後予算要求等で、作業を進めていく。総合教育会議では、ある程度詳しく市長へ説明しておいた方がいいような本年度、来年度以降の重要課題4つについて現状・方向性を説明し、教育委員も市長と協議をし、応援してもらいたいと考えている。

北岡教育長 総合教育会議の意義として、特に大きな改革を教育の中でやっていかなければならない中で、予算等が必要なもの、急がなければならぬものを市長にしっかり理解してもらうことが必要である。教育委員会の中で考えて、このような課題があるなど、きちんと答えられるようなものに絞って、深く話をしていかなければならない。限られた時間なので、市長にもしっかり理解できるようなわかりやすい資料を準備していただきたい。

〈報告第24号 平成30年度11月補正予算の概要について〉

和久田教育部次長 *小学校空調設備設置事業 36,600千円
児童の健康維持と学習しやすい教育環境を早期に確保するため、小学校空調設備設置に必要な経費を補正するもの。

松永教育委員 中学校、特別支援学校は終わっているのか。

有馬教育部首席審議員兼教育施設課長 幼稚園と中学校は、現在設計を行っており、工事の予算は、12月市議会に提案したいと考えている。小学校分の工事の予算は、3月市議会に提案したい。特別支援学校については、改築の際にすでに設置が終わっている。泉小については、中学校と一体型になっているため、設計が済んでいる。

北岡教育長 小学校は、来年度3月いっぱいには設置完了しなければならない。

有馬教育部首席審議員兼教育施設課長 補足になるが、今回の交付金の補助の内容が、普通教室を最優先としているため、特別教室の空調については、補助の内定額をみてから市としての方針を決めたい。2年で行う事業を1年で行うこととなり、市の財源が厳しいため、未設置の特別教室については来年度までに設置できるかは、現状まだわからない。耐用年数の経過により更新を計画していた特別教室の空調については、現状は使える状況なので、壊れてから対応するということになる。

富田教育委員 理科室は、扇風機が回っていると、風圧で実験ができない。

有馬教育部首席審議員兼教育施設課長 今回、こういった機会なので、できれば特別教室までできるように財政と折衝はしたいと考えている。

北岡教育長 市政懇談会でも関心が高く、夏までに設置完了すると期待をされていることもあるようだ。2年間で行うものを1年で行うため、また、土日にしか工事もできないため、期間を要する。中学校の工期を9月末までと考えていたが、そこに小学校が入ってくるので、難しいところがある。

松永教育委員 全国で設置が始まると製品がないのではないかと。

有馬教育部首席審議員兼教育施設課長 国のほうでは事業計画を集計して、メーカーに確認されていて機器は大丈夫とのことだが、市内の施行業者が心配である。

松永教育委員 夏休み期間中に一度に工事を行うと、施行業者が不足することも考えられる。

〈報告第25号 平成30年度教育に関する事務執行状況の点検・評価報告書について〉

機教育政策課長 前回の定例会で報告した後に変更になった部分について資料により説明。個別票の「教育委員会外部評価の実施」の欄を「教育委員会外部評価委員会における意見等」の欄とし、本年度実施した外部評価について記入することとしたため、様式を変更し、今年度の外部評価の対象となった事業について、外部評価のまとめを記入した。

5. 連絡事項
- | | |
|------------|---|
| 教育政策課 | 氷川中組合議会行政視察について、総合教育会議について |
| 学校教育課 | 八代型小中一貫連携教育実践発表公開授業について、学校訪問について、県の小学校体育研究会発表大会 |
| 生涯学習課 | 妙見祭について、部落解放熊本県研究集会について、青少年体験活動キッズチャレンジについて、図書館マルシェについて、まなびフェスタについて |
| 教育サポートセンター | くま川教室11月行事について |
| 博物館 | 秋季特別展覧会について、寄贈による新収蔵品展について |
| 事務局 | 総合教育会議日程確認（11/22 10：00～）
12月定例会日程確認（12/21 14：00～） |

6. 会議録署名委員の指名 小嶋委員・松永委員

7. 閉会 (午前11時56分 閉会)

平成 年 月 日

署名委員

記録者
